

自ら方略的に読み書く児童を育てる授業実践
—小学4年生における説明的文章の指導—

深谷達史（広島大学）

fukaya@hiroshima-u.ac.jp

話題の位置づけ

- 公立小学校での実践事例

- 戸部栄子教諭，立見康彦先生との共同研究

- 群馬大学教職大学院での研究がもと

- 昨年の『教育心理学研究』に掲載

(深谷・戸部・立見，2017)



群馬大学 教育学部

Faculty of Education, Gunma University

教育心理学研究

第65巻第1号 2017年3月

原 著	1
三 田 文 子	12
伊 藤 美 希	26
伊 藤 美 希	32
高 木 真 実	32
伊 藤 美 希	44
伊 藤 美 希	57
伊 藤 美 希	91
伊 藤 美 希	106
原 著【実践研究】	120
尾 上 真 由	132
尾 上 真 由	145
尾 上 真 由	149

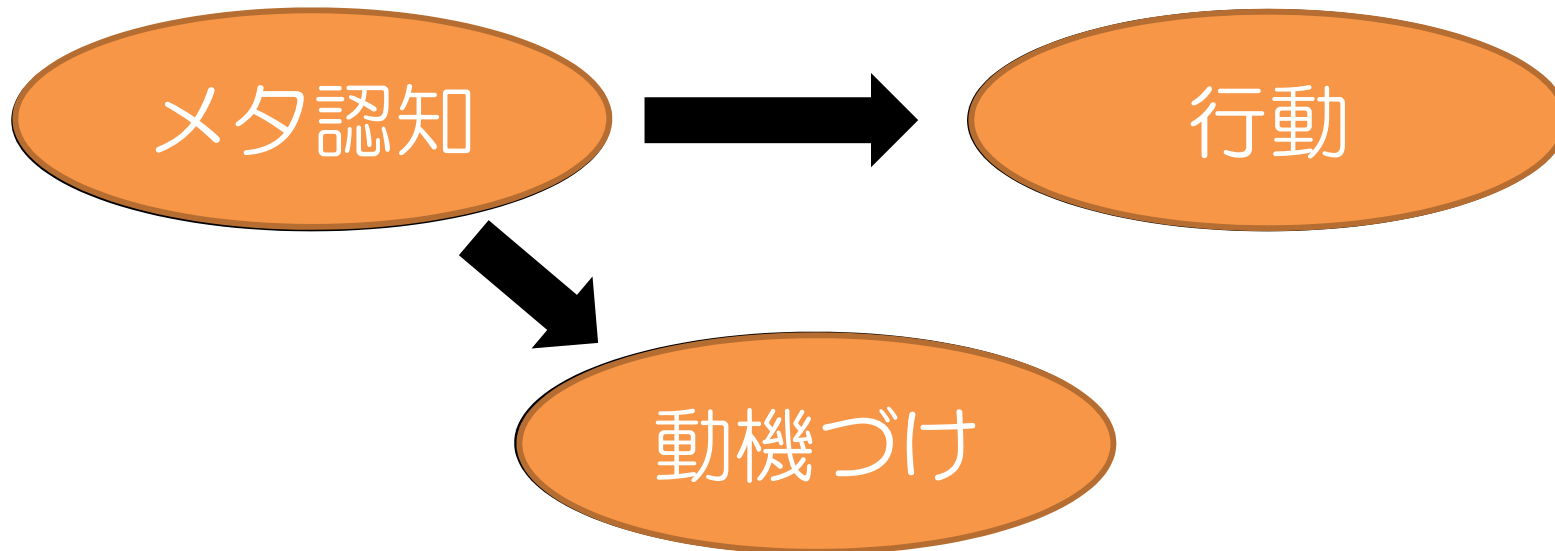
一般社団法人 日本教育心理学会

話題の位置づけ

- 実践の枠組み：SRLの視点から
 - 教室では方略が明示的に教授されない

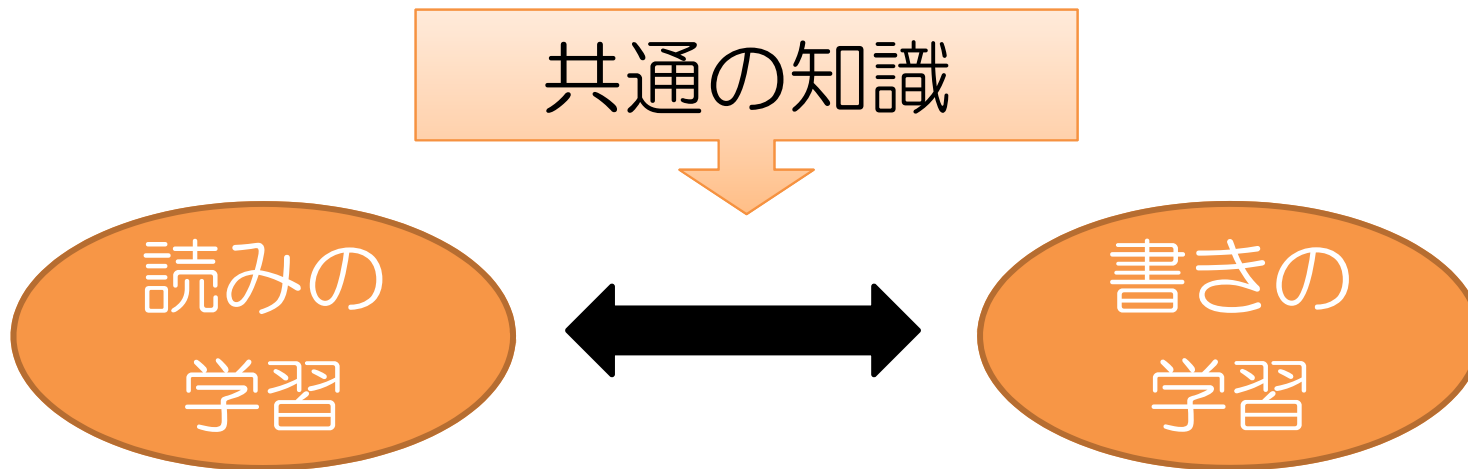
(Veenman, 2013; 犬塚, 2008)

方略の教授と活用



話題の位置づけ

- 実践の枠組み：読み書きのリンク
 - 読みの学習と書きの学習を関連づける必要性
- (犬塚・椿本, 2014)



背景

研究の背景

- 説明スキーマ研究

- 説明とはどのようなものかについての知識
- 説明の構造に関する知識など

(岩永, 1990, 1991など)

はじめ	なか	おわり
問いなど	説明など	答えなど

(佐藤, 2014)

研究の背景

- 説明スキーマ研究

- 説明とはどのようなものかについての知識
- 説明の構造に関する知識など

(岩永, 1990, 1991など)

- 方略研究

- 読解や文章産出を効果的な方法
- 方略の種類や教授効果を調べる研究

(犬塚, 2002, McNamara, 2004など)

読み書きをリンクさせる実践研究は行われてこず

研究の背景

- 実践の手だて

- ① 読みと書きをリンクさせた単元構成

前半

- 説明的文章をうまく読むコツを学習

後半

- 他の文章を説明する際、読むコツを書くコツとしても活用

研究の背景

- 実践の手だて

- ② 方略の明示的教授と活用 (1 時間の流れ)

説明

- 読むコツ・書くコツを明示的に提示

確認

- 短文などを用いてコツを確認

活用

- コツを活用して読み，話しあい

1 学期と2 学期，あわせて2 つの単元を実施

实践

実践

- 研究の流れ

事前調査
(4月)

- 質問紙調査, 読解テスト

実践1
(5月)

- 動物の秘密について読み, 調べる

実践2
(10月)

- 植物の不思議について読み, 紹介する

事後調査
(11月)

- 質問紙調査, 読解テスト, 転移テスト

実践

- 実践の概要
 - － 公立小学校 4 年生 1 学級
 - － 学級担任：15 年以上の指導歴
 - － 児童数：9 名
 - － 山間の小規模校（次年度に統合）

実践1

- 単元計画

序盤
(1-3時)

- 「ムササビのひみつ」
- 問い - 説明 - 答え の構造の学習
- WSを使って説明を読みとり

中盤
(4-7時)

- 「アメンボはにん者か」
- 序盤と同じ活動

終盤
(8-12時)

- 動物についての図書を読み、
自分でも説明文を作成
- グループ内で発表

実践1

- 序盤：文章構造の学習

おわり

答え

ふたが落ちないよう
円い形になっている

なか

説明

四角いふたは角度が
ずれると落ちるが、
円いふたは落ちない

はじめ

問い

マンホールのふたは
なぜ円いのか？

実践1

- 序盤：コツを活用しワークシートをまとめる

<p>ムササビのひみつ</p> <p>②</p> <p>木から木へ飛びうつることができるのか。</p> <p>名前</p>	<p>説明</p> <p>実験で分かったこと <input checked="" type="checkbox"/>の目の奥でななめにしてみるとう上に上がっていくかんじがした。 ムササビは、^{まぶた}めを閉じて風を^{まぶた}受けてとまできるといふことが分かった。</p> <p>まよりのひみつ</p>	<p>⑧ かくされた問い</p> <p>反対のことを言うときのつなぎ言葉 しかし、せん。 では、ムササビが自由に飛び回るひみつはどこにあるのか。</p>	<p>説明</p> <p>観察で分かったこと 尾を後ろのかじのようにななめにする^{まよ}と曲がりたり行きたい方向に行ける。</p> <p>尾のひみつ</p>	<p>答え</p> <p>○「問い」の答えになるように、二つのひみつを書きましよう。</p> <p>どうして飛べるかという^{まよ}と風をななめで受けていてその力で飛べる。</p> <p>自由にいろいろな所に行けるのは、尾をななめやまよ、すぐにいろいろな所にいけるようにして</p> <p>ができるのかな？ 2つのひみつをお家の人に教えてあげよう。</p>
---	--	--	--	---

写真などから内容をイメージする (写真削除)

写真を使って自分の言葉で説明 (写真削除)

実践1

- 終盤：関連図書を読み，説明文をかく
 - － 関連図書を事前に読む
 - － 2つのテーマ：「体のつくり」「生きるチエ」
 - － 問いと答えの内容に整理 (説明は省略)
 - 「どうして」「どのように」をキーワードに
 - ワークシートを作成し説明活動
 - その後，清書

問いと答えの枠組みに情報を整理 (写真削除)

実践1

- 実践1のまとめ

成果

- 文章構造に基づく基本的な要素を
読んだり書いたりできた

課題

- 情報の取捨選択に課題
- 話しっぱなし聞きっぱなしの説明
- 常に用意されるワークシート

実践2

- 実践の改善

課題

- 情報の取捨選択に課題
- 話しっぱなし聞きっぱなしの説明
- 常に用意されるワークシート

改善策

- 大事な情報を3つと限定
- 相互的なやりとりを促す働きかけ
- 自ら「問い-説明-答え」を整理

実践2

- 単元計画

序盤
(1-4時)

- 「落ち葉ではなく落ちえだ」
- 自分で「問い - 説明 - 答え」を整理
- 事実と推理の違いを学び読みとる

終盤
(5-8時)

- 植物についての図書を読み、
自分でも説明文を作成
- グループ内で発表

実践2

- 序盤：事実をもとに推理する
 - 教材文：「落ち葉ではなく落ちえだ」
 - 林に特徴的な枝がたくさん落ちていることに気がつく筆者
 - 観察された事実から「落ちえだ」現象の謎に迫る